

滿洲^④語

- singgeri (申革)
- ikhan (委罕)
- tashka (塔思哈)
- gûlmakhûn (古魯麻孩)
- muduri (木杜兒)
- meikhé (梅黑)
- morin (母林)
- khoniu (和爾)
- bonin (莫嫩)
- tchoko (替和)
- indakhûn (引荅洪)
- ulghiyân (兀里彥)

① 祕史には十二辰象の中八つの名より見えないから、爾餘の名は祕史の語に最も近いと思はるゝ華夷譯語鳥獸門に見ゆる名稱を以て補ひ「」の中に入れて區別した。

② Die Inschrift des Grabsteins am Sine-usu (Ramstedt: *Zwei uigurische Runeninschriften in der Nord-mongolei*) O. 7, によりて新たに知られし回鶻語なり。但しトムゼンによれば *bars* にてこの方従ふべきなり。

③ *ibid.* O. 8.

④ *ibid.* N. 10.

⑤ *ibid.* N. 11. による。但しラドロフはこれを *Kül tägin* 碑の研究中において、*alyazin* と讀めるは蓋し非なり。

⑥ 滿洲語の後ろに「」の中に入れて漢字は女眞語で、華夷譯語によつたものである。其の他のものはすべて Chavannes 氏の *Le cycle turc des douze animaux* (通報一九〇六年) の中に引いてあるものに據つたが、オルコン碑文の *bäcin* は Radloff 氏に據つた。Chavannes 氏の *bäcin* は Thomsen 氏の讀み方によつたのである、蒙古語では *metchin* の外に *bečin* ともいふから「」の中に入れて示したのである。

此の如く此等の各種族の間では、十二支獸の名をそれぞれ自分の國語に譯して呼んで居るのであるが、此の中注意すべきことは蒙古語の *bars* (巴兒思—虎)、*metchin*, *bečin* (別嗔—猿) 及び *loo* (祿—龍) とが全くトルコ語と